

多様な民意を切り捨てる衆議院定数削減に
反対する請願

〔請願趣旨〕

自民党と日本維新の会などは、秋の臨時国会で衆議院の定数を削減する法案の成立をねらっています。

先の総選挙では、自民党の小選挙区の得票率は49.1%でしたが、獲得議席は小選挙区289議席の86%にも及びました。

小選挙区が民意を反映しないもとで、比例代表は多様な国民の意思を映し出す大切な役割をもっています。この定数を削減すれば、国民の声がますます国会に届かなくなってしまうです。

数の力で民意を切り捨てる衆院比例定数を削減することは許されません。

以上の趣旨から、次のことを請願します。

〔請願項目〕

一、衆議院の定数を削減しないこと

氏 名	住 所